

大阪港湾局・令和3年度部局運営方針

令和3年度は、府市の港湾組織の一元化による効果をしっかりと発揮し、令和の時代に生き残る港湾、利用者を選択される港湾として、大阪・関西の成長を支え、港の安全を守るという大阪港湾局の使命を果たすべく、次のテーマに重点的に取り組みます。

重点テーマ1：港の国際競争力の強化

国際競争力を高めるため、大阪港と府営港湾の連携による集貨、創貨（新たな貨物の創造）、港湾機能の強化に資する施設整備などを進めます。

〔主な取り組み〕

- 【大阪港】主航路の拡幅・増深、夢洲コンテナ埠頭航路・泊地の増深、集貨インセンティブ制度の活用 など
- 【府営港湾】汐見地区（泉大津フェニックス）夕凧2号岸壁整備、中古車自動車輸出拠点整備及び阪南2区（ちきりアイランド）の用地造成 など

重点テーマ2：災害に強く、安全で使いやすい港の実現

防災機能を高めるため、港湾施設の耐震化、高潮対策事業、計画的な維持管理や港湾BCPの充実を図ることなどを進めます。

〔主な取り組み〕

- 【大阪港】防潮堤の南海トラフ巨大地震・津波対策、埋立地における浸水対策工事の実施や港湾BCPの充実 など
- 【府営港湾】高潮対策工事の実施、高潮タイムラインの作成支援や港湾BCPの充実 など

重点テーマ3：臨海地域の活性化

臨海地域の活性化を図るため、企業誘致と土地利用の促進、クルーズ客船の母港化に向けた誘致や施設整備などを進めます。

〔主な取り組み〕

- 【大阪港】2025年日本国際博覧会会場を含めた夢洲の土地造成、天保山客船ターミナルの整備 など
- 【府営港湾】クルーズ客船の誘致及び受入体制の整備、府民が海とふれあえる親水空間の整備 など